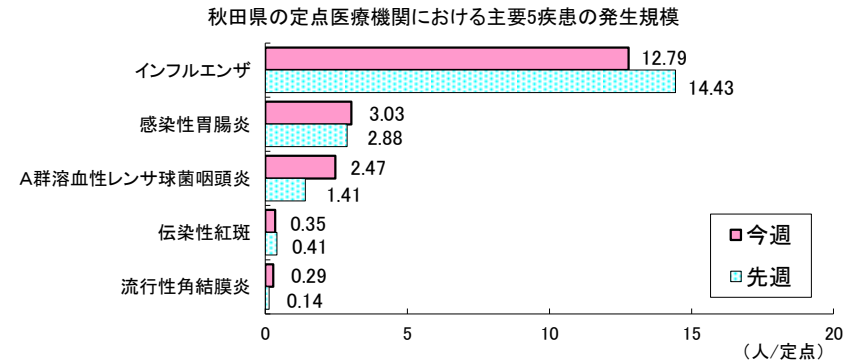




【第8週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. インフルエンザは、県全体で11%減少しています。保健所別では、秋田中央、湯沢で増加、秋田市、大館、北秋田、能代、由利本荘、大仙、横手で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で5%増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、秋田中央、横手、湯沢で増加、大館、能代、由利本荘、大仙で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で75%増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で増加、大館、北秋田、横手で減少しています。



発生報告

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減			
RSウイルス感染症	0.06	0.06		0.14	0.14										0.25	0.25														
インフルエンザ	14.43	12.79	↘	17.91	16.45	↘	12.00	8.50	↘	20.00	7.00	↘	20.25	18.50	↘	19.50	19.83	↗	10.50	6.50	↘	12.14	10.43	↘	8.80	5.20	↘	9.20	18.80	↗
咽頭結膜熱	0.12	0.15	↗												0.50	↗		0.25	0.25		0.50		↘		0.33	↗	0.25	0.25		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.41	2.47	↗	1.86	4.00	↗	1.00		↘	0.50		↘			2.00	3.25	↗	1.50	4.00	↗	1.50	1.75	↗	1.00	0.33	↘	2.00	4.75	↗	
感染性胃腸炎	2.88	3.03	↗	3.86	4.29	↗	2.33		↘	3.00	5.50	↗	8.00	5.00	↘	3.75	4.00	↗	0.50	0.25	↘	1.75	1.00	↘	1.00	3.33	↗	1.75	4.00	↗
水痘	0.09	0.09		0.14		↘		0.33	↗									0.25	↗		0.25		↘		0.33	↗	0.25		↘	
手足口病	0.03		↘												0.25		↘													
伝染性紅斑	0.41	0.35	↘	0.14	0.29	↗	4.33	3.33	↘																					
突発性発しん	0.24	0.26	↗	0.43	0.43		0.33		↘		2.00	↗			0.25		↘	0.25		↘				0.33	0.33		0.25	0.25		
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎		0.03	↗																		0.25	↗								
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14	0.29	↗	0.33	0.67	↗				*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎	0.38	0.88	↗							3.00	5.00	↗			*	*			1.00	↗								1.00	↗	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が能代保健所管内から2人、報告されました。
 ・五類感染症のアメーバ赤痢が秋田市保健所管内から1人、侵襲性インフルエンザ菌感染症が大仙保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から2人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-7週 全国	秋田	8週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	2315	9	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	8		
	腸管出血性大腸菌感染症	135		
	腸チフス	5		
バラチフス	3			
四類	E型肝炎	49		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	78	6	
	エキノкокクス症	1		
	黄熱			
	オウム病	2		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	1		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

トピック

<3月1日~7日は子ども予防接種週間です>

「子ども予防接種週間」は、入園・入学を控えたこの時期に、保護者を始めとした地域住民の予防接種に対する関心を高め、予防接種率の向上を図ることを目的として、日本医師会・日本小児科医会・厚生労働省が主催しています。

入園・入学前のお子さんのいるご家庭では、3月は準備で忙しい時期ですが、新しい集団生活を始めるにあたり、準備の1つとして予防接種の確認もお願いします。

■麻しん、風しんワクチンについて

麻しんは、平成27年3月に世界保健機関(WHO)により日本国内からの排除が認定されました。しかし、今でも海外からの輸入症例が報告されており、現在は、関西地方を中心に麻しん患者数の増加が報告されています。人の移動に伴い感染が拡大する可能性もありますので、今後とも注意が必要です。また、風しんも昨年10月頃から患者の急増がみられ、感染拡大防止のためにはワクチン接種が重要です。

小学校就学前の1年間は、定期接種に指定されている麻しん、風しんワクチンの第2期接種対象期間です。定期接種に指定されている今の時期を逃すと、以降は任意接種となり接種費用が全額自己負担となってしまいます。小学校の入学前に接種が済んでいるかどうかを確認し、未接種の方は早めに接種を受けましょう。

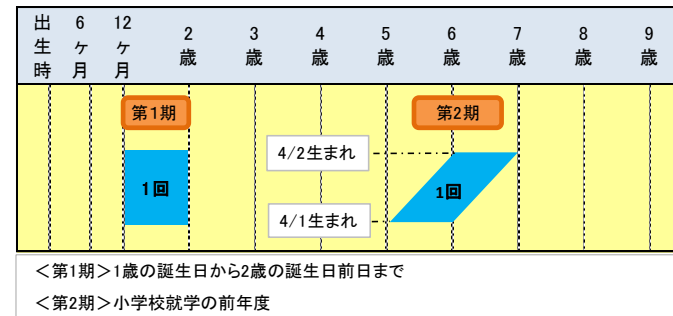


図 麻しん、風しんのワクチン接種スケジュール



2018年/2019年シーズン (2018年第36週: 9月3日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

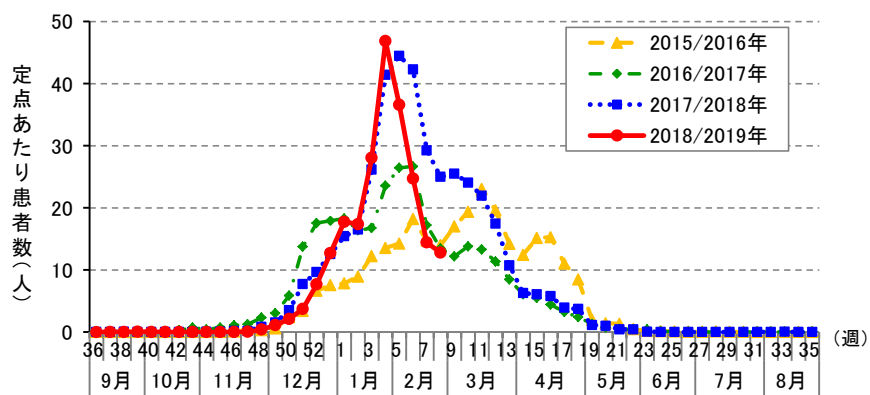


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2018/2019シーズン

秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
2/18～2/24 (8週)	累計	2/11～2/17 (7週)	累計
13	234	929	17,527

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が5件報告されました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数		
				利用者(園児、入所者等)	職員	計
116	北秋田市	グループホームもりの家	2/18	17名のうち 6名	18名のうち 4名	10名
117	能代市	愛慈幼稚園	2/18	101名のうち 12名	17名のうち 0名	12名
118	にかほ市	明星保育園	2/18	42名のうち 10名	13名のうち 0名	10名
119	大仙市	なかせんワイワイランド	2/18	191名のうち 16名	40名のうち 0名	16名
120	由利本荘市	特別養護老人ホーム白百合苑	2/20	64名のうち 10名	51名のうち 2名	12名

【インフルエンザの集団発生状況】

○今シーズン(2月24日時点)の報告数

120施設: 社会福祉施設31、保育所・幼稚園79、病院10

<参考>

○昨シーズンの年間報告数

170施設: 社会福祉施設44、保育所・幼稚園119、病院7

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

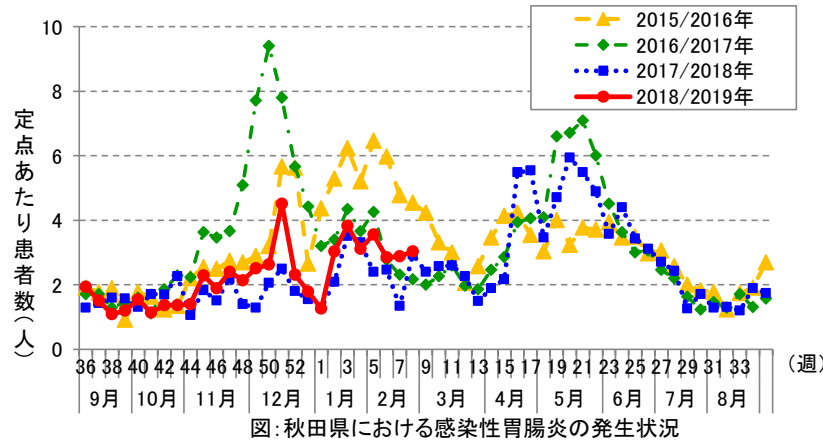
感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間
			利用者(園児、入所者等)	職員	計	
横手市	横手市特別養護老人ホーム白寿園	2/19	119名のうち 11名	90名のうち 0名	11名	2/16 ~ 2/19



感染性胃腸炎情報



社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が3件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入所者等)	職員	計			
51	羽後町	にしもないこども園	2/18	211名のうち9名	46名のうち1名	10名	2/12 ~ 2/18	嘔吐、下痢	ノロウイルス、アデノウイルスを検出
52	北秋田市	特別養護老人ホーム森泉荘	2/19	46名のうち7名	49名のうち3名	10名	2/7 ~ 2/14	嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出
53	北秋田市	あいかわ保育園	2/20	118名のうち15名	34名のうち0名	15名	2/14 ~ 2/20	嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出

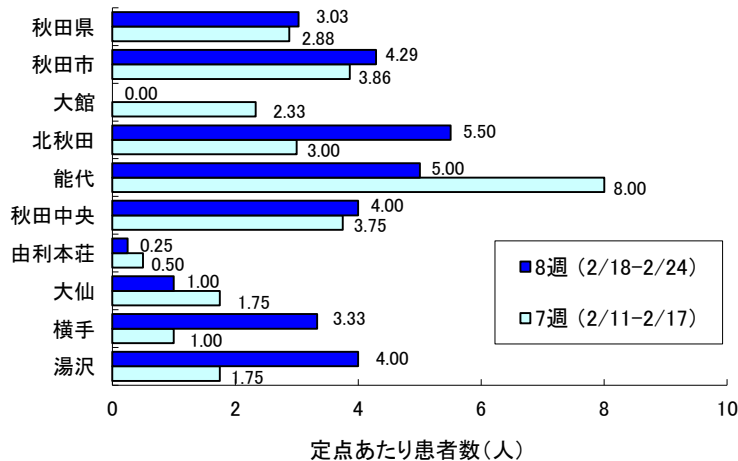


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

【感染性胃腸炎の集団発生状況】

- 平成30年度(2月24日時点)の報告数
53施設 有症者722名: 社会福祉施設6、保育所・幼稚園46、病院1
- <参考>
○平成29年度の年間報告数
42施設 有症者637名: 社会福祉施設8、保育所・幼稚園34

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
インフルエンザ	大仙(10.43)、湯沢(18.80)	秋田市(16.45)、能代(18.50)、秋田中央(19.83)
伝染性紅斑	-	大館(3.33)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		